

ClearWorks 帳票印刷オプション 印刷実行モジュール設定方法

本書では ClearWorks 帳票印刷オプションのご利用にあたり、印刷実行モジュールの設定方法について、Web ページに掲載しているサンプルの帳票定義ファイルを用いて説明しております。

設定の前に

I. ClearWorks 自動印刷プログラムを起動して下さい。

〔スタートメニュー〕 - 〔すべてのプログラム〕 から〔ClearWorks 帳票印刷オプション〕をクリックし、〔自動印刷〕 - 〔ClearWorks 自動印刷〕を起動している状態が前提となります。

II. C ドライブ直下に任意のフォルダを 2 つ作成して下さい。

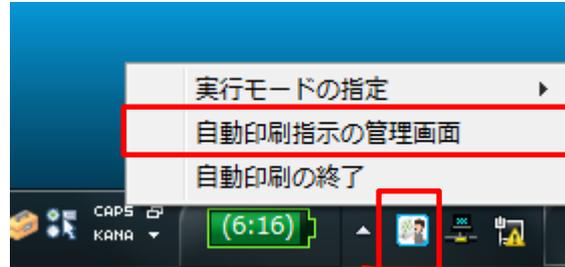
- ① 帳票定義ファイル保存先フォルダ (cw_def フォルダとします)
- ② ClearWorks より出力した csv ファイルを監視するフォルダ (cw_watch フォルダとします)

III. サンプル帳票定義ファイルのダウンロード・保存をして下さい。

ClearWorks Web ページよりサンプル帳票定義ファイル一式 (cw_def.cab) をダウンロードし、cab ファイルを解凍の上 cw_def フォルダに保存して下さい。

① 自動印刷設定準備

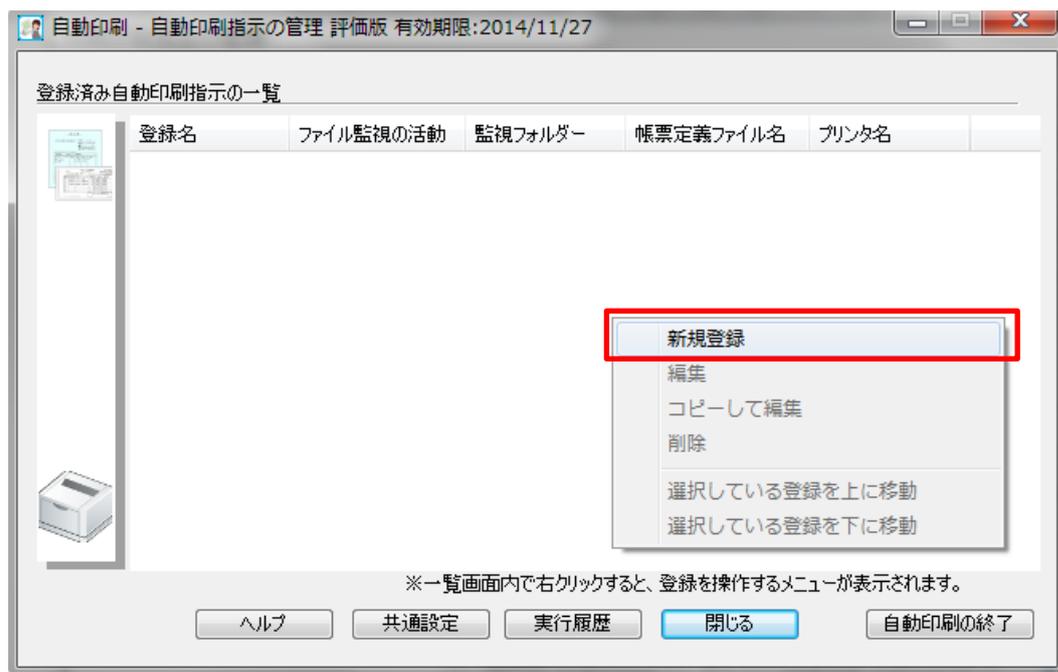
デスクトップ画面右下〔タスクトレイ〕の本製品アイコンを<右クリック>していただき、〔自動印刷指示の管理画面〕を選択して、管理画面を表示させます。



右クリック

② 自動印刷指示の登録

〔自動印刷指示の管理〕の画面が表示されます。一覧画面内で右クリックをして、メニューを表示してください。〔新規登録〕を選択すると自動印刷指示の登録画面が表示されます。
(次ページ)



③ 自動印刷設定の新規作成

自動印刷 - 自動印刷指示の登録/編集

登録名 : *未設定*

ファイル監視の指定 ※青字の部分をクリックすると設定できます。

CSV 監視の活動化 : 活動 停止

TAB 監視対象パス : *未設定*

監視対象ファイル :

帳票出力の指定

帳票定義ファイル : *未設定*

データファイル形式 : *未設定*

印刷時の改ページ : *未設定*

印刷時に使用するフォーム : *未設定*

印刷中の確認操作 : *未設定*

出力に使用するプリンターの指定

プリンター名 : *先に帳票設定を選択してください*

印刷範囲 / 部数 : *先に帳票設定を選択してください*

印刷位置調整 : *先に帳票設定を選択してください*

印刷拡大縮小率 : 100 %

ファイルを検知した時の動作指定

実行モード : 印刷 プレビュー 設定ダイアログの表示

※タスクトレイメニューの実行モードの指定が「自動印刷指示ごとの実行モード」の時に有効

コマンド連携 : 印刷パラメータを印刷データ内に付加して実行するモード

コマンド連携 : 有効

帳票定義ファイル参照フォルダー : *未設定*

設定をおこなうためには、*未設定* 部分ををクリックしてください。

OK キャンセル

新規登録を選択すると、自動印刷設定の画面が表示されます。こちらで、必要な設定を行うことで自動印刷を行うことができます。各項目の内容は下記の通りです。

(1) 登録名

【自動印刷指示の管理】画面に登録される名称になります。

(2) ファイル監視の設定

監視するフォルダとファイルの設定を行います。

(3) 帳票出力の指定

出力するために使用する帳票定義ファイルやデータファイルの形式を設定します。

(4) 出力に使用するプリンターの設定

印刷をする際に使用するプリンターの設定を行います。

(5) ファイルを検知した時の動作指定

印刷・プレビュー・ダイアログ表示の設定を行います。

(6) コマンド連携

印刷パラメータを印刷データ内に付加して実行する拡張モードです。

設定の必要はございません。

(1) 登録名

自由に記述することができます。本書では「納品書サンプル」と入力します。



(2) ファイル監視の指定

(フォルダの参照) 画面が表示されます。

1. 監視の活動化

「活動」にチェックを入れることで自動印刷を利用することができます。

2. 監視対象パス

csv ファイルを監視する対象のフォルダを設定します。

※フォルダは、予め作成する必要があります。

本書ではCドライブ直下に「cw_watch」というフォルダを作成しています。

本書では作成済の「C:¥cw_watch」を指定します。

3. 監視対象ファイル

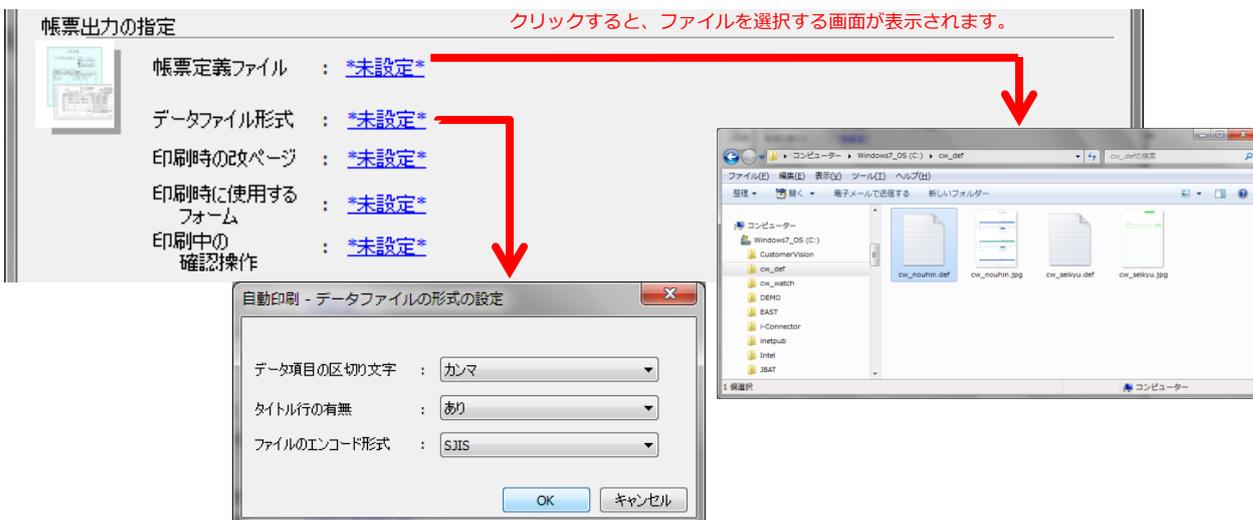
監視対象パスで指定したフォルダで、指定したファイルを検知すると自動印刷が起動します。

本書では「nouhin.csv」を指定します。

例のように入力すると、以下の図のようになります。



(3) 帳票出力の指定



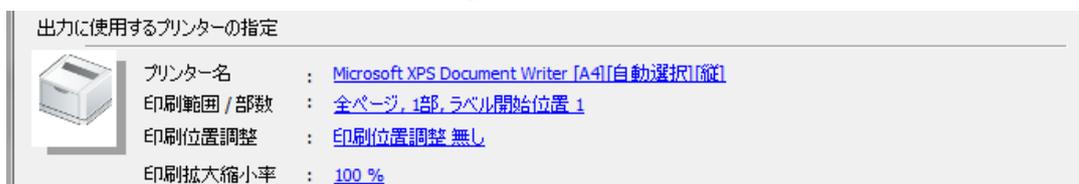
1. 帳票定義ファイル

クリックすると、ファイルを選択する画面が表示されます。帳票定義ファイルを指定してください。

※帳票定義ファイルは予め任意のフォルダに保存しておく必要があります。

本書では、「C:¥cw_def」の下に保存した帳票定義ファイル(cw_nouhin.def)を選択しています。

また、帳票定義ファイルを選択した際に、下図のように「出力に使用するプリンターの設定」の項目に、お客様が「通常使うプリンター」に設定されているプリンターが自動的に設定されます。



2. データファイル形式

監視対象ファイルのデータ形式を選択します。今回例として準備のある「nouhin.csv」はデータ項目の区切り文字が「カンマ」、タイトルのある、SJIS のファイルになります。

これらを設定して「OK」ボタンをクリックします。

(3) 帳票出力の指定

帳票出力の指定

帳票定義ファイル : C:\%cw_def%cw_nouhin.def

データファイル形式 : カンマ区切り, タイトル行あり, SJIS

印刷時の改ページ : *未設定*

印刷時に使用するフォーム : *未設定*

印刷中の確認操作 : *未設定*

クリックすると、[印刷時の改ページ条件の設定] 画面が表示されます。

自動印刷 - 印刷時の改ページ条件の設定

選択されている帳票定義ファイル
C:\%cw_def%cw_nouhin.def

通常 - データが明細範囲からあふれた時に改ページ

毎レコード - 1レコード毎

キー項目 - 指定した項目の値が前レコードと異なる場合に改ページ

伝票番号

OK キャンセル

自動印刷 - 印刷時に使用するフォームの設定

選択されている帳票定義ファイル
C:\%cw_def%cw_nouhin.def

使用するフォームを事前に指定する

フォーム指定

納品書

明細あふれによる改ページでは、上記の次に定義されているフォームを使用する

複写紙モード、使用するフォームから部数分のフォームを切替えて印刷

使用するフォームをデータで決定する

フォームを決定するデータ項目

OK キャンセル

クリックすると、
[印刷時に使用するフォーム] の
設定画面が表示されます。

3. 印刷時の改ページ

改ページの設定をする項目になります。

本書で使用する「nouhin.csv」は、伝票番号が変わった際にページを切替えるため、「**キー項目**」を選択し、プルダウンより「**伝票番号**」を選択します。

4. 印刷時に使用するフォーム

帳票定義ファイル内のどのフォームを使って印刷するかを選択する項目になります。

フォーム指定はプルダウンより「**納品書**」を選択して下さい。

(3) 帳票出力の指定

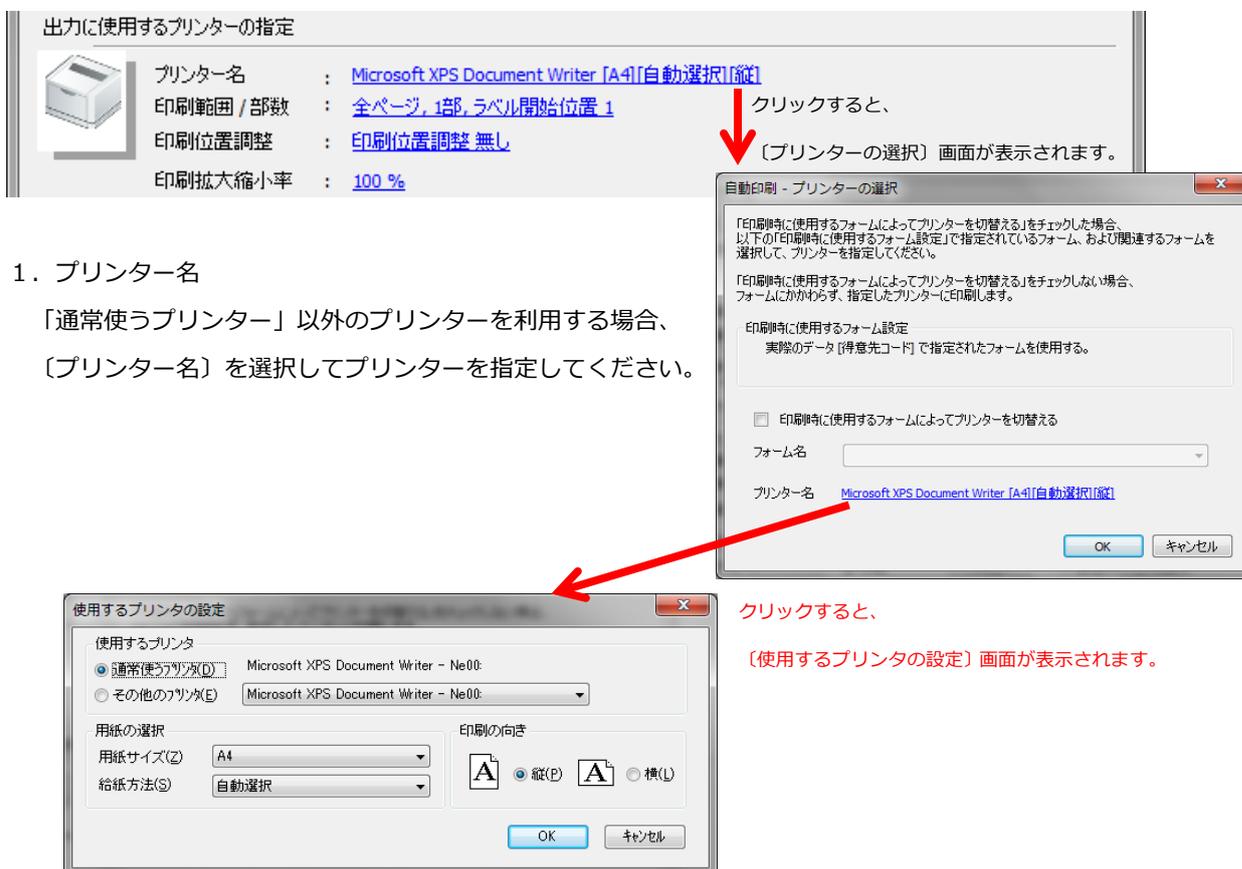


5. 印刷中の確認操作

印刷中にページやフォームが切替わった際に、確認画面の表示/非表示等の設定項目になります。
本書では、プルダウンより「確認操作を行わない」を選択します。

(4) 出力に使用するプリンターの指定

(3) - 1 「帳票定義ファイル」でファイルを選択した際に、通常使用しているプリンターが既に選択されている場合があります。通常使用しているプリンター以外を設定したい場合や、印刷をする範囲や位置調整などを行いたい場合に設定を行う項目です。



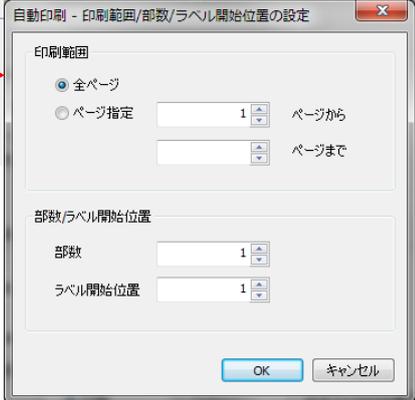
1. プリンター名

「通常使うプリンター」以外のプリンターを利用する場合、
〔プリンター名〕を選択してプリンターを指定してください。

出力に使用するプリンターの指定

プリンター名 : Microsoft XPS Document Writer [A4][自動選択][縦]
 印刷範囲 / 部数 : 全ページ, 1部, ラベル開始位置 1
 印刷位置調整 : 印刷位置調整 無し
 印刷拡大縮小率 : 100 %

クリックすると、
 [印刷範囲/部数/ラベル開始位置の設定]



2. 印刷範囲/部数
 印刷を行うページの範囲や部数の設定を行うことができます。

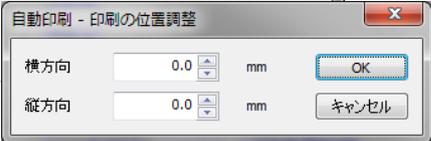
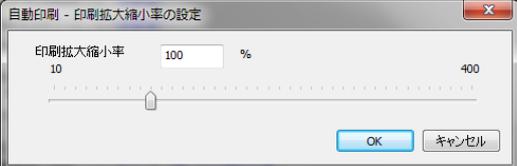
(4) 出力に使用するプリンターの指定

出力に使用するプリンターの指定

プリンター名 : Microsoft XPS Document Writer [A4][自動選択][縦]
 印刷範囲 / 部数 : 全ページ, 1部, ラベル開始位置 1
 印刷位置調整 : 印刷位置調整 無し
 印刷拡大縮小率 : 100 %

クリックすると、
 [印刷の位置調整] 画面が表示されます。

クリックすると、
 [印刷拡大縮小率の設定] 画面が表示されます。

3. 印刷位置調整

印刷を行う位置調整を設定する項目です。

※サンプル帳票で印刷をした際に印字ズレが発生した際に、縦横の位置調整を行ってください。

4. 印刷拡大縮小率

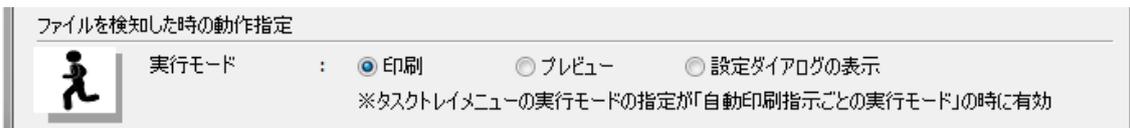
印刷の拡大縮小率を設定する項目です。

(4) の例では特別な設定を行っていないため、設定例は以下のようになります。

出力に使用するプリンターの指定

プリンター名 : Microsoft XPS Document Writer [A4][自動選択][縦]
 印刷範囲 / 部数 : 全ページ, 1部, ラベル開始位置 1
 印刷位置調整 : 印刷位置調整 無し
 印刷拡大縮小率 : 100 %

(5) ファイルを検知した時の動作指定



監視対象フォルダにて nouhin.csv ファイルを検知した際の動きを設定します。

「本書では設定ダイアログ」の表示を設定します。

実行モードは下記の3つがあります。

①【印刷】

ファイル検知時に、直接印刷を行います。

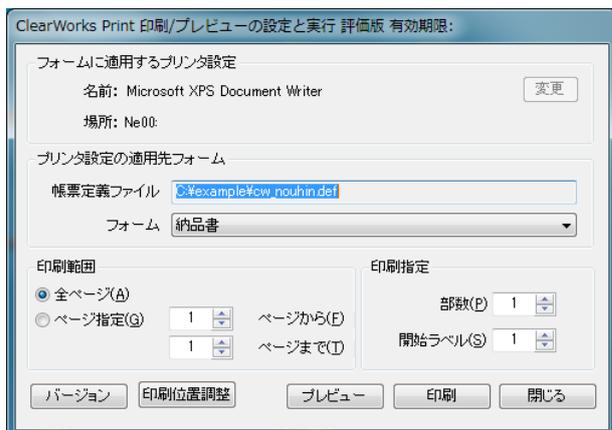
②【プレビュー】

ファイル検知時に印刷プレビュー画面を表示します。

③【設定ダイアログの表示】

ファイル検知時に印刷範囲、印刷位置の微調整を設定するダイアログが表示されます。

ダイアログ下部の「プレビュー」・「印刷」ボタンを押すことによりそれぞれ実行する事ができます。



本設定については、実行モードで「自動印刷指示ごとの実行モード」を選択した場合の動作になります。

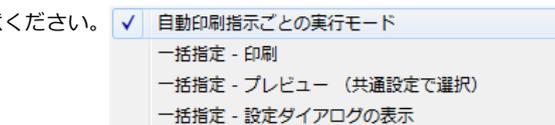
実行モードの設定・変更はデスクトップ画面右下〔タスクトレイ〕の本製品アイコンを

〈右クリック〉→、〔実行モードの指定〕より行う事ができます。

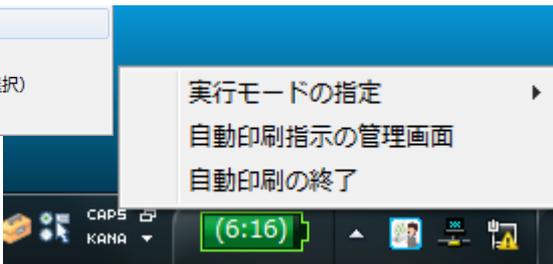
〔実行モードの指定〕で「一括指定 - 印刷/プレビュー/設定ダイアログの表示」など、

「自動印刷指示ごとの実行モード」以外を選択した場合には、タスクトレイから設定した内容が優先されますので

ご注意ください。



一番上の項目にチェックされている場合、
(5) のファイルを検知した時の動作指定の
設定に基づき動作致します。



(6) コマンド連携

コマンド連携：印刷パラメータを印刷データ内に付加して実行するモード

	コマンド連携	:	<input type="checkbox"/> 有効
	帳票定義ファイル 参照フォルダー	:	*未設定*

設定をおこなうためには、*未設定* 部分をクリックしてください。

OK キャンセル

コマンド連携を実施する場合の項目です。

設定の必要はございません。

本書にある例に合わせて設定を行うと、以下のようになります。

自動印刷 - 自動印刷指示の登録/編集

登録名
請求書サンプル

ファイル監視の指定 ※青字の部分をクリックすると設定できます。

	監視の活動化	:	<input checked="" type="radio"/> 活動 <input type="radio"/> 停止
	監視対象パス	:	C:%cw_watch
	監視対象ファイル	:	nouhin.csv

帳票出力の指定

	帳票定義ファイル	:	C:%cw_def#cw_nouhin.def
	データファイル形式	:	カンマ区切り, タイトル行あり, SJIS
	印刷時の改ページ	:	キー項目 - 項目 [伝票番号] の値が前レコードと異なる場合に改ページ
	印刷時に使用するフォーム	:	フォーム [納品書1] を常に使用する
	印刷中の確認操作	:	確認操作を行わない

出力に使用するプリンターの指定

	プリンター名	:	Microsoft XPS Document Writer [A4][自動選択][簡易]
	印刷範囲 / 部数	:	全ページ, 1部, ラベル開始位置 1
	印刷位置調整	:	印刷位置調整 無し
	印刷拡大縮小率	:	100 %

ファイルを検知した時の動作指定

	実行モード	:	<input type="radio"/> 印刷 <input type="radio"/> プレビュー <input checked="" type="radio"/> 設定ダイアログの表示 ※タスクトレイメニューの実行モードの指定が「自動印刷指示ごとの実行モード」の時に有効
-------------------------------------------------------------------------------------	-------	---	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

コマンド連携：印刷パラメータを印刷データ内に付加して実行するモード

	コマンド連携	:	<input type="checkbox"/> 有効
	帳票定義ファイル 参照フォルダー	:	*未設定*

設定をおこなうためには、*未設定* 部分をクリックしてください。

OK キャンセル

サンプルでご準備している請求書 (cv_seikyu.def) の出力設定につきましては、下記の通りになります。

自動印刷 - 自動印刷指示の登録/編集

登録名
請求書サンプル

ファイル監視の指定 ※赤字の部分をクリックすると設定できます。

CSV TAB 監視の活動化 : 活動 停止
監視対象パス : [C:%cw watch](#)
監視対象ファイル : [seikyu.csv](#)

帳票出力の指定

 帳票定義ファイル : [C:%cw def%cw_seikyu.def](#)
データファイル形式 : [カンマ区切り, タイトル行あり, SJIS](#)
印刷時の改ページ : [キー項目 - 項目 \[伝票番号1\] の値が前レコードと異なる場合に改ページ](#)
印刷時に使用するフォーム : [フォーム \[請求書001\] を常に使用する](#)
印刷中の確認操作 : [確認操作を行わない](#)

出力に使用するプリンターの指定

 プリンター名 : [Microsoft XPS Document Writer \[A4\] \[自動選択\] \[簡\]](#)
印刷範囲 / 部数 : [全ページ, 1部, ラベル開始位置 1](#)
印刷位置調整 : [印刷位置調整 無し](#)
印刷拡大縮小率 : [100 %](#)

ファイルを検知した時の動作指定

 実行モード : 印刷 プレビュー 設定ダイアログの表示
※タスクトレイメニューの実行モードの指定が「自動印刷指示ごとの実行モード」の時に有効

コマンド連携: 印刷パラメータを印刷データ内に付加して実行するモード

 コマンド連携 : 有効
帳票定義ファイル参照フォルダー : [*未設定*](#)

設定をおこなうためには、*未設定* 部分をクリックしてください。

OK キャンセル